みんなの文芸

短歌

榎本順江選

冬日和君と眺むる紫雲かな

(評)冴え渡った空に現れためでたい雲という紫雲。さぞ美くしかった事でしょう。君と眺められた幸、絵本の一ページの様な光景が浮びます。二句目、来年も良く実がつく様にと祈りを込めて残して置く柿ひとつ、鳥のためにとも言われます。裸木に映える柿は鳥が競い合って啄んでいます。木守柿の役目を見届けた作者。三句目、町営バス（との事）は、峡の人々の大事な足、乗客は二人だけで気兼ねないバスの中の様子も想像できます。

皆野　豊田　喜美恵

飛び交いて野鳥ついばむ木守柿　皆野　萩原　初恵
冬日和ふたり拾うや峡のバス　国神　藤原マキ子
照紅葉上昇気流乗りて舞う　皆野中　太幡琉美花
庭よりの眺めうれしき柿すだれ　三沢　眞下　杏子
融融と峡の野原を冬の蝶　三沢　新井　民子
冬めくや鳶蒼天に輪を描く　下田野　新井　節子
咲き優る白山茶花を愛でにけり　皆野　引間　千鶴
母に習ふ昔偲びつ毛糸編む　下日野沢　浅見　豊子
満身に芳香纏ひ上がりけり今宵の湯には日野沢の柚子　皆野　引間　万亀
山ほどの幸せをくれ犬は逝き日にち薬の冬を生く我　皆野　豊田喜美恵
フィナーレは「長崎の鐘」コロナ禍にエール送りし朝ドラ終わる　三沢　眞下　杏子
晩秋の風に舞い散る落ち葉が吹き寄せられて我が家の庭に　皆野　大澤　貴夫
霜月尽屋台囃子の響きなき秩父の街に満月は照る　皆野　打木　昭廣
理科室のアネロイド型気圧計「風の呼吸」の気圧はいくつ？　皆野中　太幡琉美花
大家族に父母は餅搗き祝ひくれ杏き昭和の正月懐かし　下日野沢　浅見　豊子
干柿はひよりと風の好日に日増しに萎む出来となりゆき　三沢　新井　民子
わが安否気遣ひくるる友のゐて唯一の励み短歌を詠みつぐ　三沢　新井　叶子
秋の日は釣瓶落としと言う通り寒さも増して淋しさも増す　皆野　村田ハツ代
眞下さん！四十年ってマジッすかァ～恐れ入谷の鬼子母神　皆野　石原　達也
陽に映える銀杏並木を仰ぎつゝ心散じる午後の散策　皆野　萩原　初恵
成人式六十二年の時をへて紬の袷せで孫と写りぬ　皆野　戸塚喜久雄
裏庭の日溜りに咲く石蕗は黄を主張して気高く咲けり　下田野　新井　節子
コロナ禍のなき平和なる世を祈り家例守りて注連飾りたる　皆野　根岸　詩子
遠き畑枯草もやす煙あり行き来激しや人影小さき　国神　藤原マキ子

家々の軒下飾る吊し柿　皆野　村田ハツ代
ウィルスに翻弄されてこぞ今年　皆野　石原　達也
初詣今年こそはと手を合せ　皆野　茂木　勉
コロナ終結一つを願ふ初参り　三沢　新井　叶子
三密守りコロナに籠る去年今年　皆野　根岸　詩子
空夢の山車を色取れ冬花火　皆野中　小菅恭青史
友いわきだんべえ土産年の暮　皆野　戸塚喜久雄

俳句・短歌を募集

作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名・電話番号を明記してみらい創造課までお寄せください。

4日必着　**1人1句、1首**に限ります。

今月の題字

皆野中1年
門平　柚里（ゆずり）さん

児童の見守り放送

三沢小6年
太幡　宇杏（うきょう）さん

1歳のお誕生日おめでとう

浬李（かいり）くん
親鼻区
磯田　孝之さん
佳美さん

これからも元気な浬李くんの成長を楽しみにしています。

1歳になる赤ちゃんを募集しています

ご応募いただいた赤ちゃんは、全員掲載します。誕生月の前月10日までに、みらい創造課窓口（写真をご持参ください）または、町ホームページからお申し込みください。

2月号の締め切りは、1月12日（火）です。

問合せ　みらい創造課
みらい創造担当
☎26-7334